

入札時に提出する陳述書について

(お知らせ)

入札時には、入札書、住民票等のほか、陳述書も提出していただく必要があります（民事執行法65条の2、民事執行規則38条7項、31条の2）。

入札書と共に陳述書が提出されないと、その入札は無効となります。また、陳述書の追完はできません。

陳述書の記載に不備がある場合には、入札が無効となることがありますので、記入、提出に当たっては、陳述書下欄の注意事項をよくお読みください。

なお、各陳述書の「陳述」欄にある「自己の計算において私に買受けの申出をさせようとする者は、別紙（中略）のとおりです。」は、これに該当する場合のみ、□にチェックを入れてください。□にチェックが入っているのに、別紙「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者に関する事項」の添付がない場合は、その入札は無効となります。

陳述書は、神戸地方裁判所姫路支部執行官室でお受け取りいただくか、BIT (<https://www.bit.courts.go.jp/>) のホーム画面右下にある「ダウンロード」にも掲載しております。

必要書類など、ご不明な点は、神戸地方裁判所姫路支部執行官室（079-281-3505）までお問い合わせください。

期間入札の公告

令和 8年 3月24日

神戸地方裁判所姫路支部競売係

裁判所書記官 西 眞庸夏

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 4月 9日から 令和 8年 4月16日まで
開札期日	日 時 令和 8年 4月22日 午前10時00分 場 所 神戸地方裁判所姫路支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 5月13日 午後 1時00分 場 所 神戸地方裁判所姫路支部競売係
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、株式会社商工組合中央金庫、農林中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 3月24日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物 件 目 録

- 1 所 在 姫路市保城字大岩ノ下
地 番 370番8
地 目 宅地
地 積 102.79平方メートル
(現況)
地 目 宅地一部公衆用道路
- 2 所 在 姫路市保城字大岩ノ下370番地8
家屋 番号 370番8
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺2階建
床 面 積 1階 69.40平方メートル
2階 49.68平方メートル
(現況)
床 面 積 1階 約64平方メートル
2階 49.68平方メートル



物 件 明 細 書

令和 7年 6月30日

神戸地方裁判所姫路支部競売係

裁判所書記官 西 眞庸夏

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

・ 本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

隣地との境界が不明確である。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。



- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- 1 所 在 姫路市保城字大岩ノ下
地 番 370番8
地 目 宅地
地 積 102.79平方メートル
(現況)
地 目 宅地一部公衆用道路
- 2 所 在 姫路市保城字大岩ノ下370番地8
家屋 番号 370番8
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺2階建
床 面 積 1階 69.40平方メートル
2階 49.68平方メートル
(現況)
床 面 積 1階 約6.4平方メートル
2階 49.68平方メートル



令和7年(ケ)第 2号
令和7年 3月31日受理
令和7年 4月22日提出

現況調査報告書

神戸地方裁判所姫路支部

執行官 吉田 誠之

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 姫路市保城字大岩ノ下 |
| | 地 番 | 370番8 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 102.79平方メートル |
| 2 | 所 在 | 姫路市保城字大岩ノ下370番地8 |
| | 家屋 番号 | 370番8 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 69.40平方メートル
2階 49.68平方メートル |

不動産の表示	「物件目録」のとおり														
住居表示	(姫路市保城370番地8)														
土地	物件 1														
現況地目	<input checked="" type="checkbox"/> 一部宅地、一部公衆用道路(物件1) <input type="checkbox"/> 公衆用道路(物件) <input type="checkbox"/> (物件)														
形状	<input type="checkbox"/> 公図のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 地積測量図のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 物件配置略図のとおり <input type="checkbox"/>														
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 土地所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有しているほか、およそ南西側部分が公衆用道路として一般の交通の用に供されている <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり														
下記以外の建物(目的外建物)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)														
その他の事項	「その他の事項」のとおり														
建物	物件 2														
種類、構造及び床面積の概略	<input type="checkbox"/> 公簿上の記載とほぼ同一である <input checked="" type="checkbox"/> 公簿上の記載と次の点異なる(<input checked="" type="checkbox"/> 主である建物 <input type="checkbox"/> 附属建物) <input type="checkbox"/> 種類: <input type="checkbox"/> 構造: <input checked="" type="checkbox"/> 床面積: 1階 約64m ²														
物件目録にない附属建物	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td>種類:</td> </tr> <tr> <td></td> <td>構造:</td> </tr> <tr> <td></td> <td>床面積:</td> </tr> </table>			{	種類:		構造:		床面積:						
{	種類:														
	構造:														
	床面積:														
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 建物所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本建物を住居(空き家)として使用している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり														
上記以外の敷地(目的外土地)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)														
その他の事項	「その他の事項」のとおり														
執行官保管の仮処分	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td>地方裁判所</td> <td>支部</td> <td>平成</td> <td>年()第</td> <td>号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保管開始日</td> <td>平成</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>			{	地方裁判所	支部	平成	年()第	号		保管開始日	平成	年	月	日
{	地方裁判所	支部	平成	年()第	号										
	保管開始日	平成	年	月	日										
土地建物の位置関係	<input checked="" type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 物件配置略図のとおり														

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

その他の事項

■ 本件不動産の状況等

1 表札等の表示

本件建物の玄関に亡Aの氏名が表示された表札がある。

2 物件1の土地（本件土地）の状況等

(1) 本件土地の状況は、以下に記載の状況のほか関係人の陳述、添付図面及び添付写真のとおり、本件建物の敷地として利用されているほか、本件建物のおよそ南西側に約18平方メートル程度の私道負担がある。

(2) 土地の周辺には境界標識等は見受けられず隣接地との境界は不明である。地積測量図、建物図面、土地の状況に基づき一部を概測したところによれば、土地の形状はおよそ地積測量図、建物図面のとおりであり、地積についてはおよそ公簿のとおりであるものと推測されるが、周辺隣接地との境界については、隣接土地所有者の立会の下、専門家による測量等により確認する必要があると思われる。

3 物件2の建物（本件建物）の状況等

(1) 本件建物の状況は、以下に記載の状況のほか関係人の陳述、添付図面及び添付写真のとおりである。

(2) 占有状況は、臨場時に立ち会った亡Aの子Bの陳述及び立入調査をした結果、2枚目記載のとおりであり、その他に第三者による占有を示すものは認められなかった。

(3) 建物の状態は、1階DKとその横の和室の天井に雨漏り跡があるが、修繕済みとのことである。2階和室の天井にも雨漏り跡があるが、修繕済みかどうかは不明である。また、1階廊下に沈み込みや傾斜が感じられた。建物は昭和46年建築であり、保守管理状態は悪いものと認めた。

(4) 評価人の概測によれば、建物図面各階平面図の1階部分の寸法（建物間取図の玄関、階段の東側の寸法）の数値が間違っており、1階部分の床面積は2枚目記載のとおり約64平方メートルである。

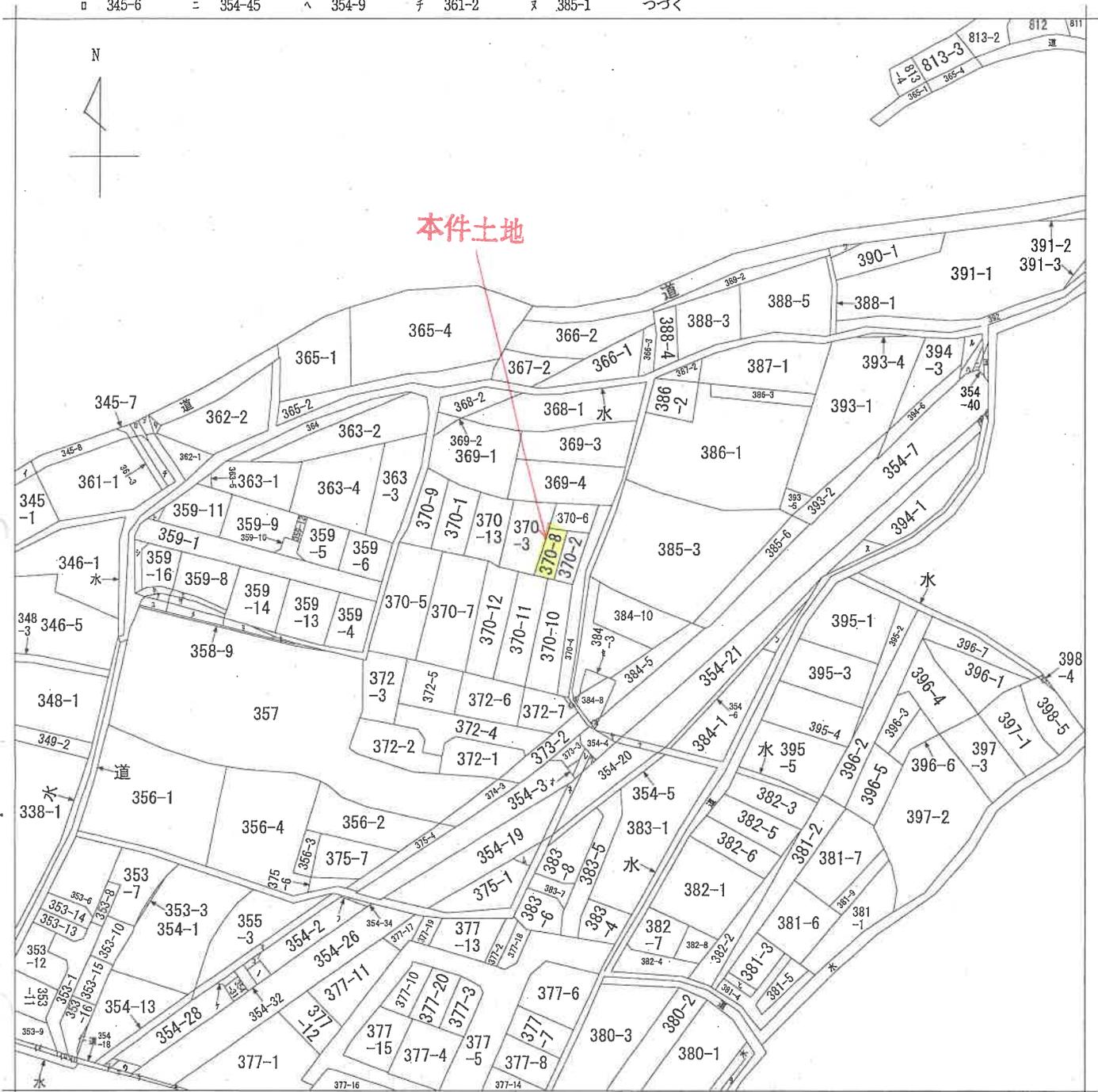
関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等(要旨)
■ B (亡Aの子)	<p>1 本件建物には亡父Aが居住していましたが、現在居住者はいません。本件建物に仏壇などが残っているので私や妹が時々来ています。</p> <p>2 近隣土地所有者と境界等で揉めるなど土地に関するトラブルがあるような話は聞いていません。 本件土地のおよそ南西側は私道負担をしていることは知っていますが、範囲までは知りません。</p> <p>3 本件建物には台所とその横の和室の天井に雨漏りがありましたが、いずれも修繕済みです。2階和室の天井の雨漏り跡は知りませんでした。現在雨漏りがあるかどうかは分かりません。その他には日常生活で付く程度の傷があるくらいだと思います。</p> <p>4 本件土地の東方の道路付近に地番370番4の私道(公衆用道路)があるとのことですが、特に通行料等の負担はありません。</p>

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
7年4月1日(火) 15:24-15:26 16:30-16:32	神戸地方法務局 姫路支局	公函等閲覧、登記事項証明書交付申請 同 受領
7年4月2日(水) 11:15-11:33	物件所在地	物件確認・物件調査、写真撮影、占有者不在連絡文書投函
7年4月10日(木) 11:20-11:51	物件所在地	物件調査、立入調査、写真撮影、Bに面談、評価人と同行
7年月日() :-:		
<p>(特記事項)</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 7年 月 日 本日まで居住者からの連絡はなく、目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 7年 月 日 目的物件は施錠されていたので、立会人・ を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 7年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。</p>		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

イ 345-3 ハ 354-43 ホ 354-8 ト 359-2 リ 362-3 ル 394-5
 ロ 345-6 ニ 354-45 ヘ 354-9 テ 361-2 ス 365-1 ッツク



請求部	所在	姫路市保城字大岩ノ下		地番	370番8	
出力縮尺	縮尺不明	精度区分		座標系又は記号	分類	地図に準ずる図面
作成年月日				備付年月日(原図)	補事項	種類 旧土地台帳附属地図

本図面は A³ 版を A⁴ 版
 に縮小したものである

登記年月日：昭和46年4月22日

前 370-2 後・新

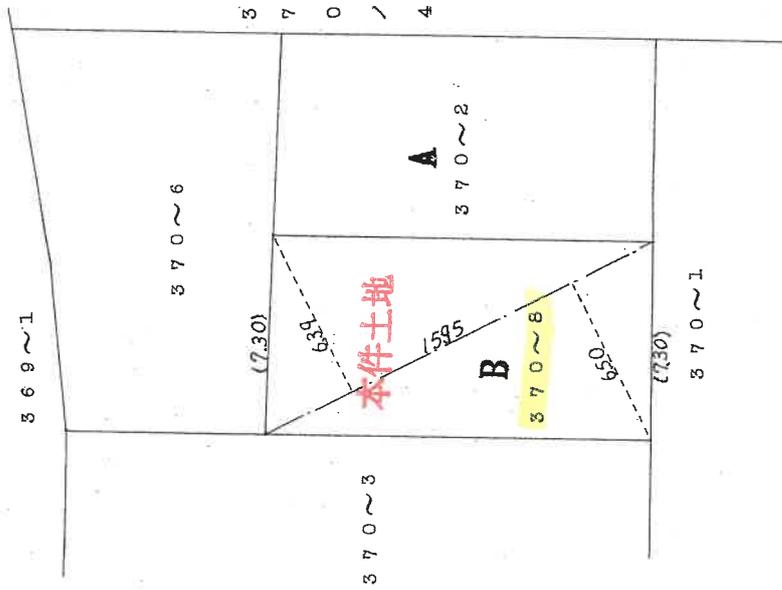
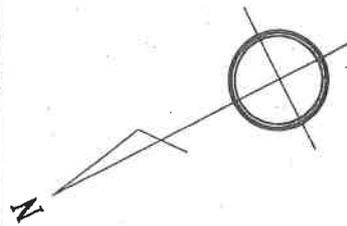
地番 370~8、370-2

土地の所在 姫路市保城字大岩ノ下

主地積測量図

昭和46年4月22日

製作年月日
昭和46年4月22日
製作者
申請人



B求積表

15.95 X 6.39	=	101.9205
15.95 X 6.50	=	103.6750
		205.5955
1/2		102.79775m ²
		31.09坪

(日本土地家屋調査士会連合会用紙) 225541

縮尺 1/200m 1/

(日調連10)

本図面は A3 版を A4 版に縮小したものである

280321 建物各階平面図

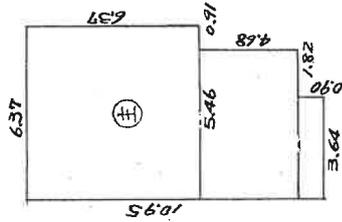
S50124

家屋番号 370~8
 建物の所在 姫路市保城字大岩ノ下370番地8

昭和50年12月 / 日
 作製年月日

申請人
 作製者

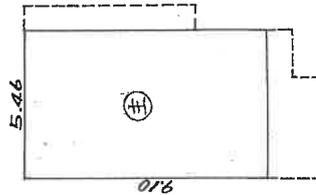
I 階



床面積計算

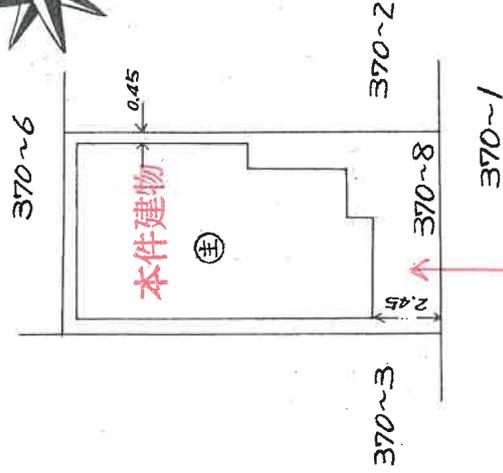
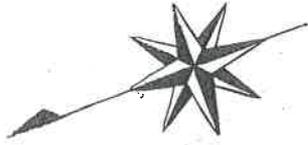
$6.37 \times 6.37 = 40.5769$
 $5.46 \times 4.68 = 25.5528$
 $3.64 \times 0.90 = 3.2760$
 合計 69.4057 m^2

II 階



床面積計算

$5.46 \times 9.10 = 49.6860 \text{ m}^2$

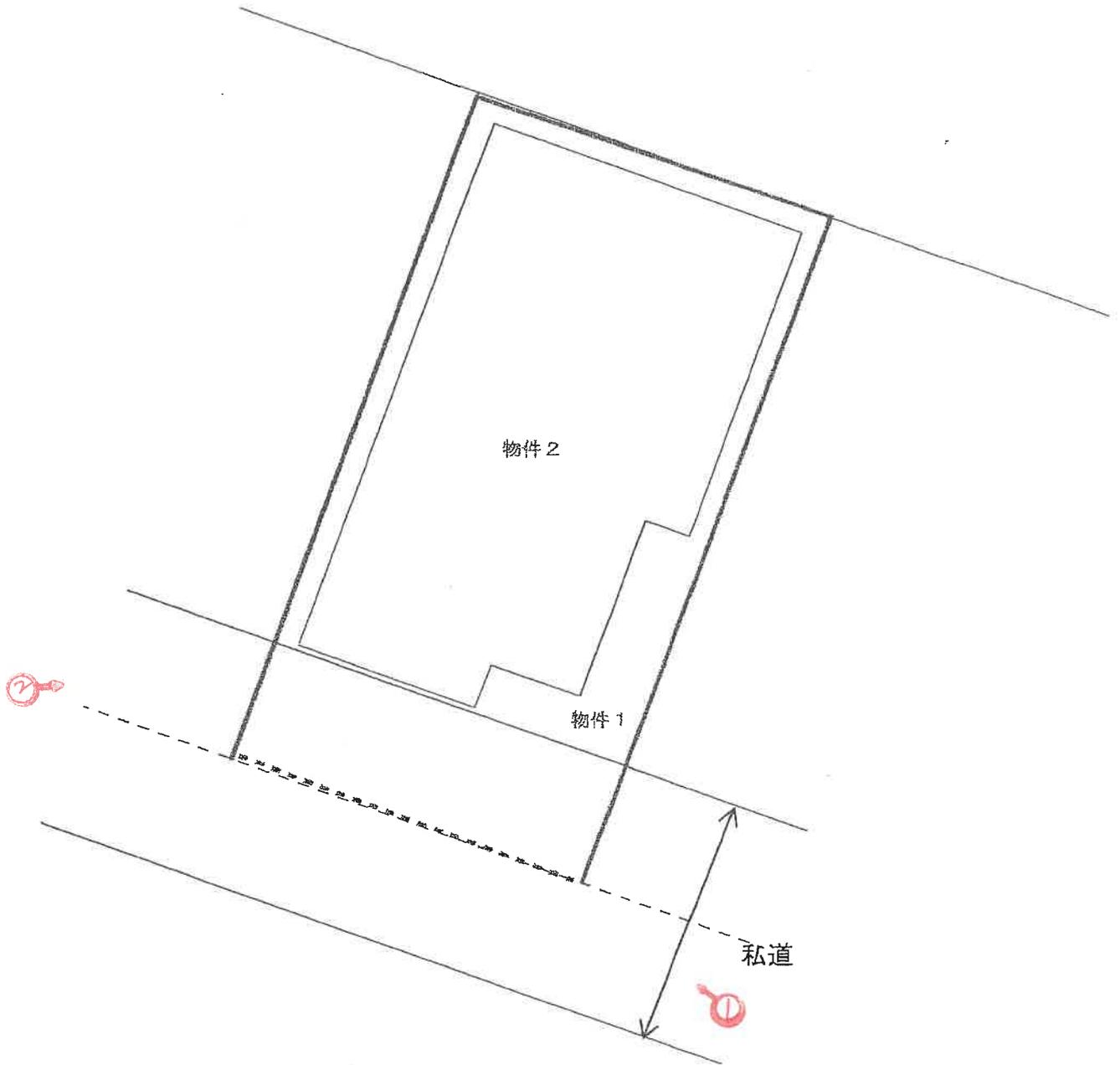


(全園土地家屋調査士会連合会用紙)

縮尺 1 / 200 (m)

本図面はA3版をA4版に縮小したものである

物件配置略図

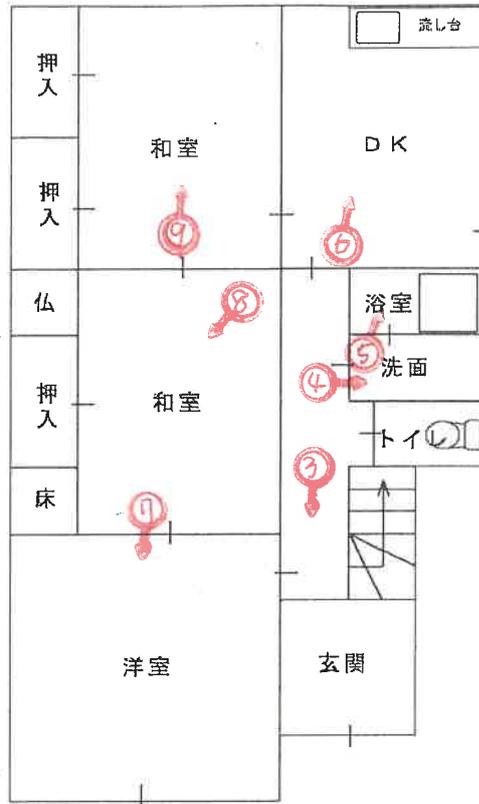


令和7年(ケ)第2号

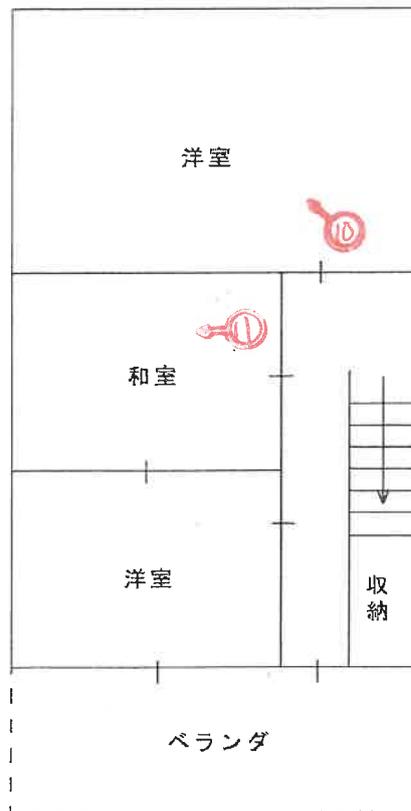
(←○)は写真撮影位置および方向

(9 枚目)

建物間取図



1階



2階

令和7年(ケ)第2号

(←○は写真撮影位置および方向)

(10枚目)

写真 ①



本件建物

本件土地
私道負担部分

写真 ②



本件建物

本件土地
私道負担部分

本件土地

写真 ③



写真 ④



写真 ⑤



写真 ⑥

雨漏り跡



写真 ⑦



写真 ⑧

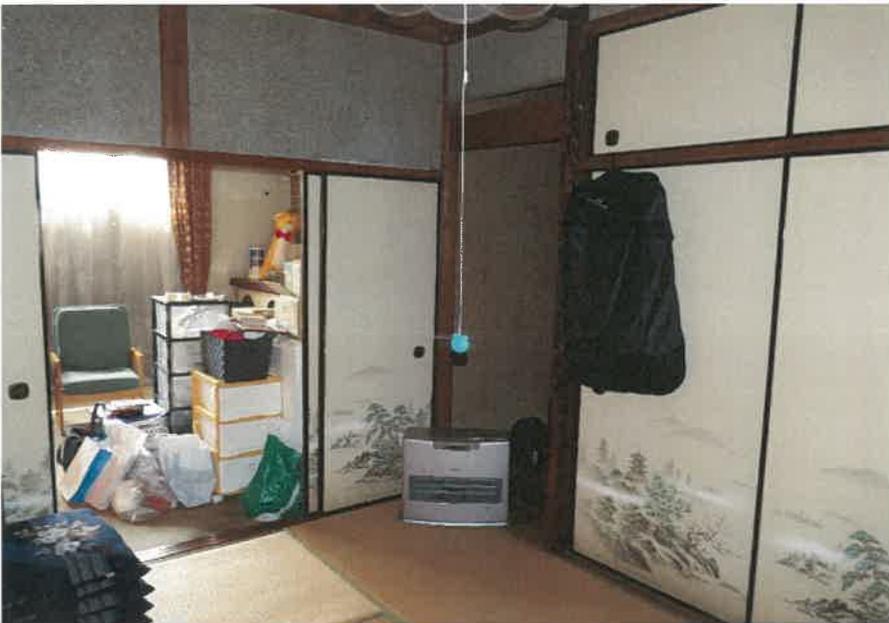


写真 ⑨



雨漏り跡

写真 ⑩



雨漏り跡

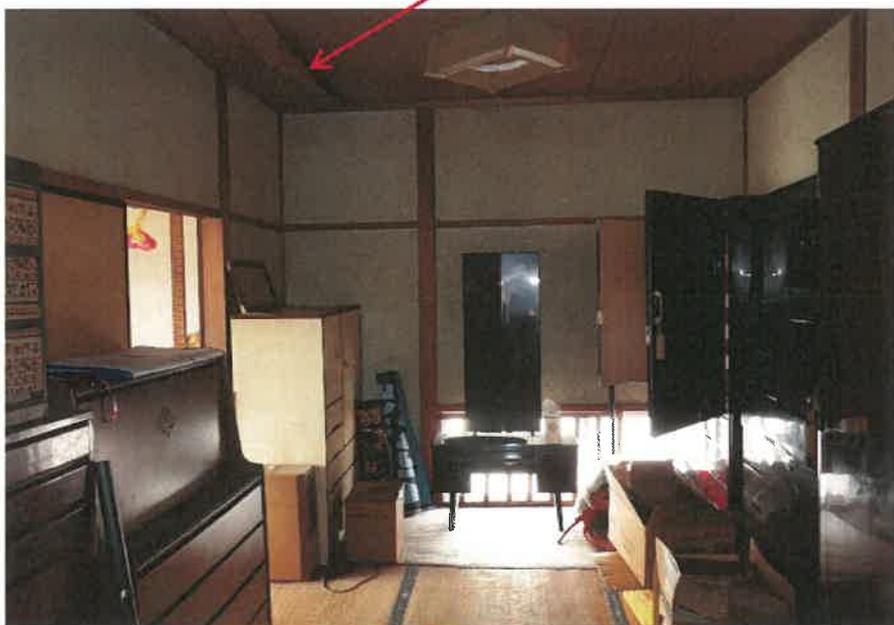


写真 ⑪

令和 7 年 (ケ) 第 2 号
令和 7 年 4 月 10 日 現地調査
令和 7 年 4 月 20 日 評価

神戸地方裁判所
姫路支部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

堂瀬さゆり

第1 評価額

一 括 価 格	
金3,580,000円	
内 訳 価 格	
物件1(土地)	金1,180,000円
物件2(建物)	金2,400,000円

- 1 一括価格は、物件1・2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ。

番号	所在等	登記	現況
1	所在地 地目 積	物件目録記載のとおり	地目：宅地一部公衆用道路
2	所在 家屋番号 種類 構造 床面積	物件目録記載のとおり	
特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 物件1の土地南側に約18㎡の私道負担が認められる。 ・ 物件2の建物の1階について下記の通り登記面積と異なる。 1階：約64㎡ 当該部分を考慮した現況床面積は以下のとおりである。 1階 64㎡ 2階約49.68㎡ 計約113.68㎡ 			

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等 (物件1)

位置・交通	JR線 野里駅の北東方 約1km (道路距離) ※JR線 姫路駅からは北東方約5km (道路距離) (附属資料位置図参照)	
付近の状況	JR播但線の線路敷背後に戸建住宅が建ち並ぶ住宅地域。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 用途地域 建ぺい率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化区域 準工業地域 60% 200% 防火指定なし 宅地造成等工事規制区域 大規模集客施設制限地区
画地条件	規模 102.79 m ² の ほぼ整形地 間口約7.3m 奥行約14m	
接面道路の状況	南側 約5m私道 (建築基準法第42条1項5号道路)	
土地の利用状況等	物件1は物件2建物の敷地	
供給処理施設	上水道 あり ガス配管 なし 下水道 あり (注)供給処理施設における「あり」・「なし」とは対象物件の前面道路に引込み可能な該当施設の本管が通っている・通っていない状態にあることをいう。	
土壌汚染等	土壌汚染の可能性について特段の情報は得られなかったが、その有無及び内容について確実な情報を得るには専門調査機関による土壌汚染状況調査を要する。	
特記事項	・洪水浸水想定区域3m～5m未満の区域。	

2 建物の概況及び利用状況等 (物件2)

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	<p>建築年月日 (登記記載) 昭和46年4月15日 新築 昭和50年9月30日変更、増築</p> <p>経過年数 54年程度</p> <p>経済的残存耐用年数 一年程度</p> <p>※目的建物は経済的耐用年数をほぼ満了している。</p>
仕 様	<p>構 造 : 木造</p> <p>屋 根 : 瓦葺</p> <p>外 壁 : 吹付等</p> <p>内 壁 : センイ壁等</p> <p>天 井 : ボード等</p> <p>床 : フローリング・畳等</p> <p>設 備 : 特になし</p> <p>そ の 他 : 特になし</p>
床面積 (現況)	目的物件記載のとおり
現況用途等	<p>現況用途 : 居宅</p> <p>間取り : 附属資料建物間取図のとおり</p>
品 等	普通
保守管理の状態	やや劣る
建物の利用状況	現況調査報告書のとおり
特 記 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・石綿使用等の有無 対象建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の詳細については専門調査機関の分析調査を要する。 ・本件建物は築後54年程度経過し、内部では経年・使用相応の劣化が見受けられ、床には沈み込み、傾きが感じられた。1階の天井は雨漏り痕が存した。外壁にはクラックが見受けられた。築年からも継続使用には相当の修繕を要する。 ・本件建物の現況の床面積では、指定建蔽率を超過している可能性がある。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格 (物件1)

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番 号	標準画地価格 (円/m ²) ア	個別 格 差 イ	地 積 (m ²) ウ	建付減価 エ	建 付 地 価 格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	58,700	0.87	102.79	0.80	4,200,000

ア 標準画地価格 (公示価格等からの規準)

地価公示 (姫路-66)

公示価格等(円/m²) 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格(円/m²)
 $57,500 \times 99/100 \times 100/100 \times 100/97 \approx 58,700$

◇ 時点修正 : 公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率

◇ 標準化補正 : 不要 (1.00)

◇ 地域格差 : 街路条件 接近条件 環境条件 行政条件 格差率
 $100/101 \times 100/100 \times 100/96 \times 100/100 \approx 100/97$

イ 個別格差 : 方位、私道負担等 (0.87)

ウ 地 積 : 登記記載数量

エ 建付減価 : 建物と敷地との適応性、建物と環境との適合性の考慮

(2) 建物価格 (物件2)

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番 号	再調達原価 (円/m ²) ア	現況延床面積 (m ²) イ	現価率 ウ	建 物 価 格 (円) ア×イ×ウ
2	160,000	約 113.68	0.05	910,000

ウ 現価率

対象建物は既に経済的耐用年数を満了しており、その経済価値は残価率(5%)程度と判定される。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 土地利用権等価格

番 号	建 付 地 価 格 (円)	土 地 利 用 権 等 割 合		土 地 利 用 権 等 価 格 (円)
	ア	イ		ア×イ
1	4,200,000	0.60	法定地上権	2,520,000

(2) 内訳価格及び一括価格

番 号	基礎となる価格 (円)	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円)	占有 減価 修正	市場性 修正	競売市場 修正	評 価 額 (円)
	ア	イ	ウ	エ	オ	(ア±イ)×ウ×エ×オ
1	4,200,000	-2,520,000		1.00	0.70	1,180,000
2	910,000	+2,520,000	1.00	1.00	0.70	2,400,000
一 括 価 格 (合 計)						3,580,000

ウ 占有減価修正： 必要なし

エ 市場性修正： 必要なし

オ 競売市場修正： 評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6. 参考価格資料

- 1 地価公示価格等 (姫路一66)
所 在 : 姫路市保城字上野田593番11
価 格 : 57,500円/m²
位 置 : JR線「姫路」駅より道路距離5km
価 格 時 点 : 令和7年1月1日
地 積 : 177m²
供給処理施設 : ガス、水道、下水
接 面 街 路 : 北東側幅員5m市道に接面
用途指定等 : 第1種住居地域(建ぺい率60%, 容積率200%)
地域の概要 : 中規模一般住宅等が見られる住宅地域

- 2 固定資産税評価額(令和6年度)
物件1 : 4,553,597円
物件2 : 1,497,468円

第7 附属資料

- 1 対象不動産及び地価公示地等の位置図
- 2 公図写
- 3 地積測量図写
- 4 建物図面・各階平面図写
- 5 物件配置略図
- 6 建物間取図
- 7 現況写真

以 上

物 件 目 録

- | | | | |
|---|-------|------------------|-------------|
| 1 | 所 在 | 姫路市保城字大岩ノ下 | |
| | 地 番 | 370番8 | |
| | 地 目 | 宅地 | |
| | 地 積 | 102.79平方メートル | |
| 2 | 所 在 | 姫路市保城字大岩ノ下370番地8 | |
| | 家屋 番号 | 370番8 | |
| | 種 類 | 居宅 | |
| | 構 造 | 木造瓦葺2階建 | |
| | 床 面 積 | 1階 | 69.40平方メートル |
| | | 2階 | 49.68平方メートル |



イ 345-3 ハ 354-43 ニ 354-8 ホ 359-2 ヘ 362-3 ニ 394-5
 ロ 345-6 ヒ 354-46 ニ 354-9 ヘ 361-2 ヘ 385-1 ト 394-5



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部	所在	姫路市保城字大岩ノ下			地番	370番8	
出力縮	縮尺不明	精度区分	座標系番号又は記号	分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日(原図)	補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

(神戸地方法務局姫路支局管轄)
 令和6年4月11日
 神戸地方法務局

請求番号：39-1
 (1/2)

登記官



70%に縮小

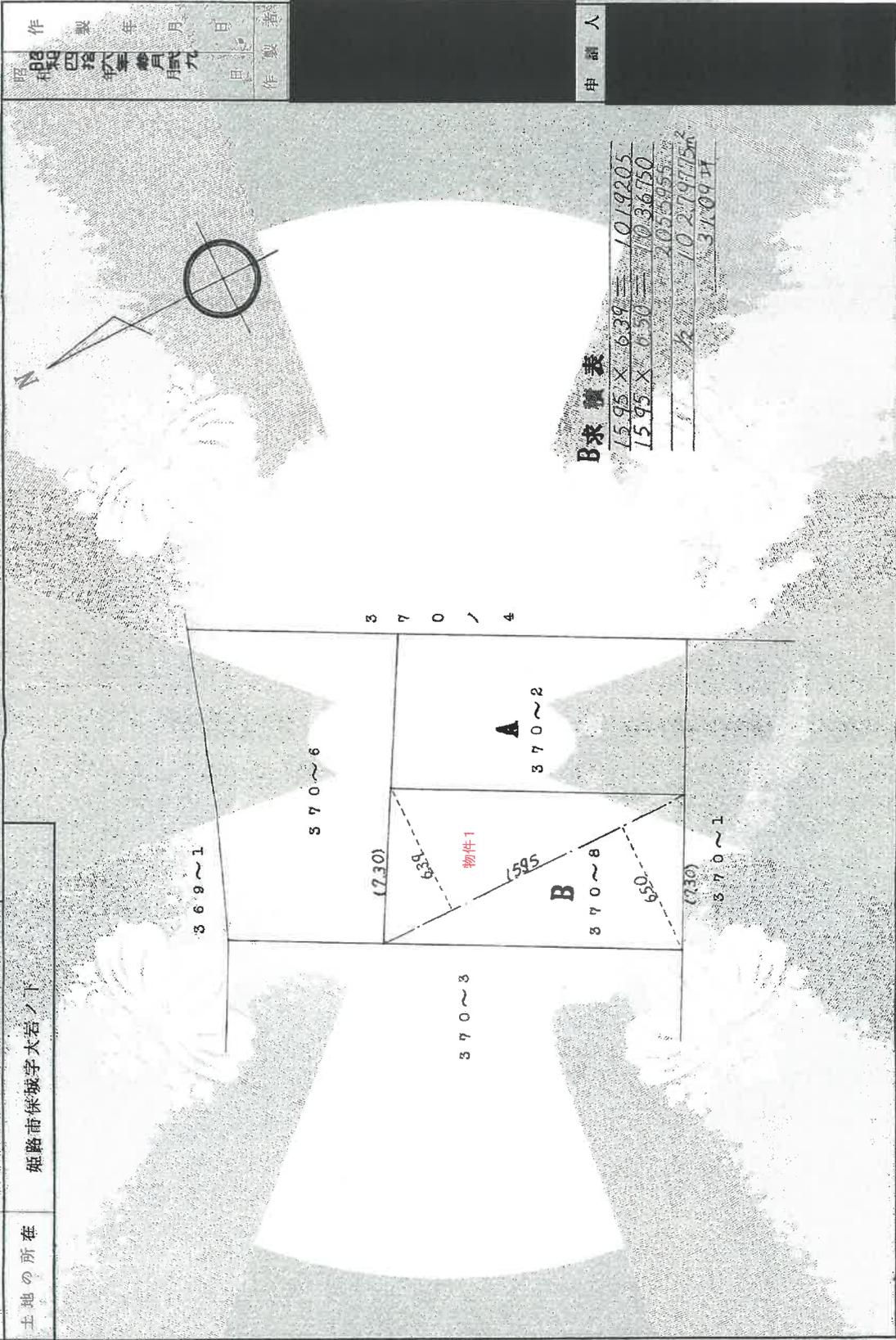
登記年月日：昭和46年4月22日

前 370-2 後・新

地番	370-8 370-2
土地の所在	姫路市保城字大岩ノ下

主 地 積 測 在 量 図

46.4.22



昭和46年4月22日	作製年 月 日
昭和46年4月22日	作製年 月 日

申請人

(日本土地家屋調査士会連合会用紙) 225541

縮尺 1/2000 1/

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
(神戸地方支務局姫路支局管轄)

令和6年4月11日 神戸地方支務局 登記官

請求番号：39-2

70%に縮小

登記年月日：昭和50年12月4日

280321

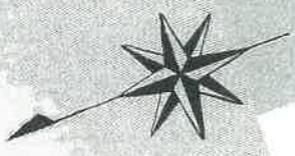
建 物 階 平 面 図

家屋番号 370~8

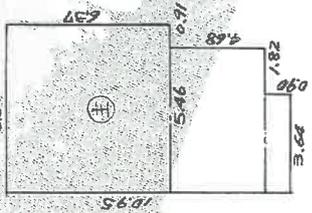
建物の所在 姫路市保城字大岩ノ下370番地8

作製年月日 昭和50年12月 / 日

作製者 申請人



1階



床面積計算

$$6.37 \times 6.37 = 40.5769$$

$$5.46 \times 4.68 = 25.5528$$

$$3.64 \times 0.90 = 3.2760$$

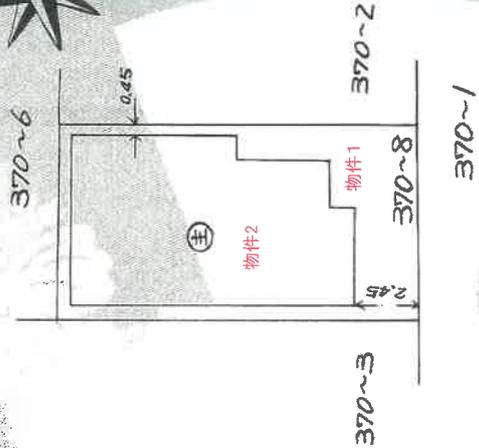
$$\text{合計 } 69.4057 \text{ m}^2$$

2階



床面積計算

$$5.46 \times 9.10 = 49.6860 \text{ m}^2$$



縮尺 1/200 (m)

(全国土地家屋調査士会連合会用紙)

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
(神戸地方法務局姫路支局管轄)
令和6年4月11日 神戸地方法務局 登記官

請求番号：39-3

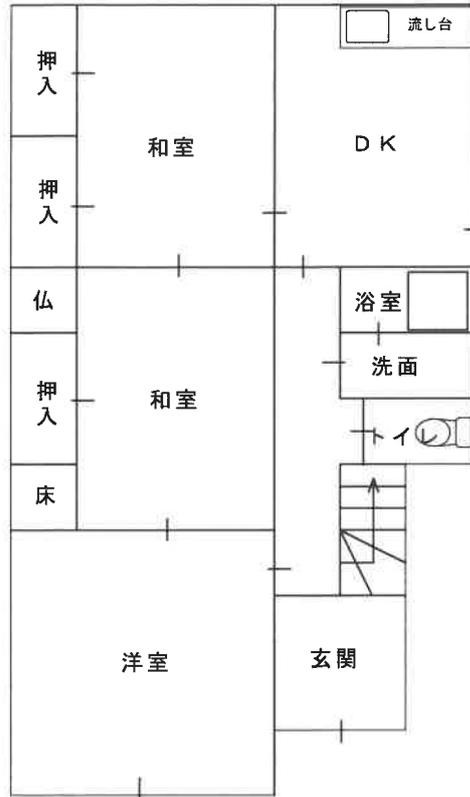
70%に縮小

物件配置略図

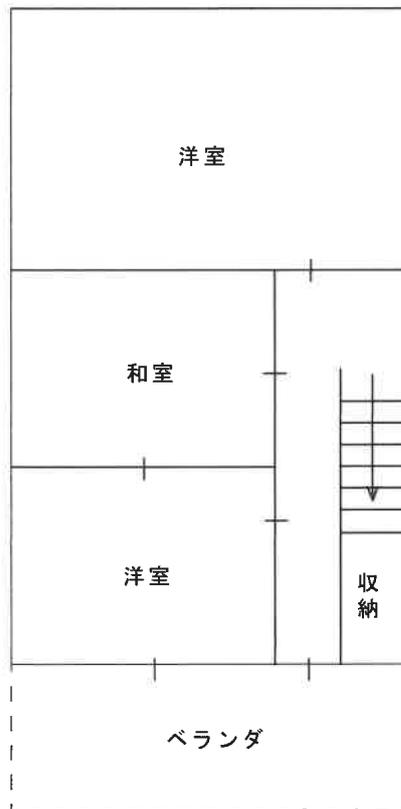


令和7年(ケ)第2号

建物間取図



1 階



2 階

令和7年(ケ)第2号

現況写真

